

北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

ほほえみ 通信 Vol 187

2025/8/29
発行

第187回 ほほえみ 開催

8月20日(水)第187回 ほほえみを開催しました。今回は10名の方に参加して頂きました。
参加に際しましては、感染予防対策のためマスクの着用と手指消毒のお願いを
させていただいておりますので、ご協力をお願い致します。

次回のほほえみは、9/17(水)14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となりますのでご参加下さい。
【がんサロン事務局より】

(がん体験記)

『がんの治療費は、命の値段？』

とにかくがんになるとお金がかかる。治療費、検査代・・・。

「治療費を捻出するために働かなければならない」という人も多い。

「経済的な困窮で治療を断念した」という人もいる。

実は私自身も途中で治療をやめようと思った一人。

副作用が強すぎて働けず(“がん”という精神的な苦痛も大きかった)、預金は生活費と治療代、そして検査費用で湯水の如く減っていった。

「なんのために治療しているのだろう。なんのために生きているのだろう」
そんな思いに苛まれた。

「お金がないと、命が救われないのか・・・」

本当は、医療は公平でなければならないはずなのに。命は平等であるはずなのに・・・。がんの治療費は、命の値段なのだろうか・・・。

すべての人たちが治療に専念できるよう、「薬代がもっと安くなればいいのに・・・」といつも思う。

(北海道/女性/乳がん/がん患者本人)